202403KeMCo

View Report

Campaign Preview HTML Source Plain-Text Email Details

View this email in your browser

Ke
M
Co

art & project
bulletin 120
lletin 94
lletin 69
lletin 63
lletin 38
lletin 11
stanley brouwn
anley brouwn
anley brouwn
nley brouwn
anley brouwn
ley brouwn
spect 69
art & project

展覧会「エフェメラ：印刷物と表現」は3月18日（月）に開幕致します。
チラシやパンフレット等長期に残ることが想定されないアイテム「エフェメラ」。1960-70 年代のアート・シーンで極めて重要な役割を果たした南画廊のカタログや、草月アートセンター『SAC Journal』、そして東京国立近代美術館アートライブラリのご協力のもと『Art & Project bulletin』の全号展示等を行う貴重な機会です。
「デザイン」や「印刷物」に興味のある方はぜひお越しください。

作品：Art & Project bulletin（art & project発行、1968–1989年刊行）、個人蔵ほか

KeMCoの近況

KeMCo新春展2024「龍の翔（かけ）る空き地　唐様前夜：林羅山とそのコミュニティ」が閉幕しました

KeMCo新春展2024「龍の翔（かけ）る空き地　唐様前夜：林羅山とそのコミュニティ 」は、2月9日（金）をもって好評のうちに閉幕しました。
慶應義塾のユニークなドラゴンが集結した賑やかな展覧会には、作家で塾員の荒俣宏さんもお見えになりました。
ご来場いただいた皆様には厚くお礼を申し上げます。

展覧会レポートを公開しています

展覧会は終了しましたが、noteにて学生学芸スタッフ「KeMiCo」のHonoka、Amiによる展覧会レポートを公開しています。
ご都合がつかず展覧会を見逃してしまった方や、もう一度展覧会の雰囲気を味わいたい方は、ぜひご覧ください。

慶應の"ドラゴン"集まる。KeMCo新春展「龍の翔る空き地」を散策してみた①🐉～龍探し編～

慶應の"ドラゴン"と遊ぼう！！KeMCo新春展「龍の翔る空き地」を散策してみた🐉②～KeMCoM企画編～

【3月18日（月）～】「エフェメラ：印刷物と表現」

SAC / SAC Journal（草月アートセンター発行、1960–1964年刊行）、慶應義塾大学アート・センター所管

美術作品や書籍のように長期的な保存を本来の目的とせず、時限的な情報掲載や使用が主たる目的であるチラシやパンフレットなどのアイテムは、限られた期間で消えゆくものとして「ephemera=1日だけの、短命な」の言葉が与えられ「エフェメラ」と呼ばれます。
安価につくられ配布された印刷物のエフェメラ（printed ephemera）は、時代ごとの出来事や空気を伝える重要なアイテムであり、近年、ミュージアムをはじめとする文化機関において蒐集の対象ともなっています。
慶應義塾ミュージアム・コモンズでは、エフェメラ、特に無料もしくは安価に刷られることで社会に広がるメディアとしての機能をもった印刷物エフェメラに焦点を当てた展覧会を開催いたします。コンセプチュアル・アートやイベント、映像表現といった新しい表現が現れ展開していった戦後美術のなかで、作品や展覧会の情報の伝達と紐づきながら、同時にアーティストの表現の場となったパンフレットやカタログ、アート雑誌などの印刷物エフェメラでは、限られた紙面のなかでさまざまな実験が試みられています。
本展覧会ではそうした紙面上の実験を紹介しながら、結果的に過去の出来事を伝え残す存在となったエフェメラに目を向けて、情報や表現の乗り物としての印刷物／エフェメラについて考えます。
また現代表現との接続として、エフェメラ／印刷物に関心を寄せる現代のアーティスト、河口龍夫と冨井大裕による二人展を同時に開催いたします。

「エフェメラ：印刷物と表現」

会期｜2024年3月18日（月）–5月10日（金）［土日祝休館］11：00〜18：00
特別開館｜3月30日（土）、4月20日（土）
臨時休館｜4月1日（月）、4月30日（火）–5月2日（木）
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
入場｜無料、事前予約不要
共催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ、特定非営利活動法人 Japan Cultural Research Institute
協力｜慶應義塾大学アート・センター
出品協力｜東京国立近代美術館アートライブラリ

学芸員によるギャラリートーク
2024年3月25日（月）15:00–16:00【予約優先】
⇒ウェブサイトよりご予約ください。

エフェメラ：印刷物と表現

展示室より、推しモノ #26

Feedback

『SAC』No. 1（1960年3月号）草月アートセンター発行、慶應義塾大学アート・センター寄託

開催が3月18日に迫る（！）「エフェメラ：印刷物と表現」展。この展覧会では、「エフェメラ（ephemera）」と呼ばれる、元々は長期使用や長期保存を念頭につくられておらず、期限や用途を終えたあとには破棄されることもある（チラシやポスターのような）アイテムを取り上げます。数多あるエフェメラの中から、今回は複数部つくられ社会の中で伝播した、美術領域での印刷物のエフェメラに着目。特に1960・70年代の資料を中心に、制作・発行機関の特性が窺い知れるポスター、チラシ、案内状、小冊子といった紙の印刷物たちが展示室Room1に並びます。
慶應義塾大学アート・センターに寄託されている「草月アートセンター」の資料体からは、当時、会員向けに発行されていた会報誌「SAC / SAC Journal」を発行順に並べてご紹介します。本来は手にとって見られる／読まれる媒体であった印刷物エフェメラ。展示室ではケース内に並ぶことになるのですが、そうすることで得られる一望性は、実は展覧会ならではの貴重な機会かもしれません。ぜひ、お立ち寄りいただき、デジタルとはまた違う、印刷ならではの質感や肌理をご堪能いただけたらと思います。

長谷川 紫穂（KeMCo所員）

空き地

学生学芸スタッフ(KeMiCo)の畑中乃咲佳です。この度、大学院とKeMCoを卒業することとなりましたので、ご挨拶させていただきます。

KeMiCoとなった１年と少し前までは、ミュージアムの展示が変わる時、次は何のテーマになるのかなとワクワク待っていた記憶があります。しかし、展示する資料の取捨選択や解説文の執筆をしたり、展示ケースをどの大きさにするか、そしてその中で展示資料をどう配置するか考えたり、展示の趣旨をよりよく伝えるためのワークショップを企画したり、それら展示や付随する企画を効果的に宣伝する方法に悩んだりしているうちに、展覧会が閉幕することを少し寂しく感じるようになりました。

昨年夏からは、SDGsプロジェクトの一環で始まったコンポスティングの活動を報告する、コンポスト日記が始まりました。コンポスティングは、所謂生ゴミや落ち葉などを微生物の分解によって堆肥にしていくという活動です。ミュージアムとは結び付かなそうなものですが、スタッフが仕事中に飲むコーヒーの殻やお茶っぱを中心に投入しながら、虫に気をつけてぐるぐると回しています。

ミュージアムの展示は、実施者や来館者の気持ちとは関係なく、一度撤収すれば二度と訪れることができない場所になります。その不可逆性と、コンポスティングのものの循環の両方を見つめながら、貴重な経験をさせていただいたこの1年と少しの期間は非常に充実していました。

今後も様々なことに挑戦しているKeMCoの活動が楽しみでわくわくします。ありがとうございました。

畑中 乃咲佳（KeMiCo）

お知らせ

三田でご覧いただける展示

Published by KUAC ── 出版物でたどる慶應義塾大学アート・センターの30年
3月4日（月）〜4月26日（金）
主催｜慶應義塾大学アート・センター
会場｜慶應義塾大学アート・スペース

慶應義塾大学文学部古文書室2023年度企画展「古文書にみる病と薬」
3月5日（火）〜3月28日（木）
会場｜福沢諭吉記念 慶應義塾史展示館

Japan in Books ー蔵書のなかの日本ー
4月15日（月）〜6月15日（土）
会場｜慶應義塾図書館1階展示室

WEBでご覧いただける展示

再現！番町の家 泉鏡花記念館 × Keio Exhibition RoomX

10月1日(日)〜**3月31日(日)**（期間限定公開）
URL｜https://kyoka.kemco.keio.ac.jp/#/
場所｜オンラインで開催します。上記URLよりお入りください。

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

*次回のKeMCo Voiceは2024年4月*に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら

Copyright © 2019-2024 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ

KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら

This email was sent to << Test Email Address >>
why did I get this?　unsubscribe from this list　update subscription preferences
慶應義塾ミュージアム・コモンズ · 2-15-45Mita · Minato-ku, Tokyo 108-8345 · Japan

INTUIT mailchimp